

千里新田小学校の校区変更についての説明会資料

平成14年(2002年)5月11日

1 通学路の安全対策について

先の説明会でいただいた意見、あるいは地域の皆様からご指摘をいただきました場所について、本市の建設緑化部及び吹田警察署とも協議を重ねました。その中で現在本市が検討している内容及び今後の対応の見通しについて、個々具体的に説明させていただきます。

2 兄弟姉妹の通学校が変更されることについて

できるだけ早く適正規模に近づけることを教育委員会としては考えておりますので、基本的には在校生の方も含めてできるだけ新しい校区の学校に移っていただきたいと考えておりますが、説明会において、多くの保護者からいただいた意見については、心情的には理解できるものと考えています。平成15年度以降に入学する弟妹が兄姉と同じ学校に通学できるようにした場合の児童の推計や、今後の保護者の方への予備調査等の結果を踏まえながら弾力的に扱う方向で検討していきます。

在校生の予備調査について

6月頃に予備調査を実施し、最終的な希望調査は11月頃に実施したいと考えています。

3 将来の児童推計の見通しについて

小学校は4月8日の在校生、0歳から5歳児については、住民基本台帳から地区別に児童数を推計しています。今後の児童生徒数の推移予測については、昨年6月に、0歳から5歳児までの子どもの数を基礎にして、平成19年度までの児童・生徒数推計を実施しました。なお、推計を行った時点で開発申請が出されていたマンション等については、戸数から予測される児童・生徒数の増加を推計に組み入れています。

地域における児童・生徒数は厳しい社会経済状況の中で、絶えず変動しており長期にわたって将来の正確な予測をすることは非常に困難です。特に、今後開発を予

定している区画整理地区内あるいは生産緑地内の状況についても、現在開発申請が提出されているもの以外の推計を具体的に見込むことは、市役所内関係所管においても困難な状況です

4 今回の計画を白紙に戻すことについて

小中学校の規模適正化については、平成12年～13年にかけて学識経験者や学校等の代表者等による「吹田市立学校適正規模検討会議」を設置し、適正規模の考え方や今後の適正化の方向について議論してきました。その後検討会議の意見書をもとに教育委員会としては、良好な教育環境を目標に、本年3月4日に適正規模についての基本的な考え方と規模適正化第1期実施計画を決定しこれに取り組んでいます。この取組みは、児童・生徒にとっての教育効果向上の観点からも実施する必要があり、ぜひとも保護者や地域の皆様のご理解とご協力のもとで進めてまいりたいと考えています。

5 通学校が異なる場合の学校間の行事の調整について

学校行事やPTA行事などについては各学校で決定することですが、特別な事情でもあるので、各学校にはできるだけ配慮されるようお願いしています。

6 校区変更ではなく施設の増築での対応について

市内全域において、小規模校と大規模校が存在しアンバランスな状況が起こっている中で、大規模校の解消は校区変更で行うことを基本的な考え方としています。なお、千里新田小学校は14年度に3教室を増築予定、佐井寺小学校は平成11年度に4教室を増築しています。

平成13年度	児童1人あたりの面積比較 単位:m ²		
	校舎面積	運動場面積	体育館面積
佐井寺小学校	6.09	6.66	0.77
佐竹台小学校	13.81	14.64	1.95
千里第二小学校	11.39	12.97	1.09
千里新田小学校	6.33	7.12	0.82
桃山台小学校	20.59	23.00	2.47
千里第三小学校	9.75	11.65	1.23
吹田市平均	11.82	12.70	1.47

上記の表のように千里新田小学校と佐井寺小学校は他校と比較しても低い水準

となっています。

したがって、これ以上の増築は学校運営上も適切ではないと考えています。

7 今後の情報公開について

市報「すいた」やホ - ムペ - ジの掲載により情報を公開していきます。

8 自治会等地域の団体等の活動への影響について

校区変更に伴う自治会等地域の団体につきましては、過去の校区変更に際してもその都度対象の団体内部で検討され、これまで校区の変更が行われても、自治会等組織は従来どおりとしているところ、あるいは相当長い年月を経て、新校区に沿った組織作りが行われたところ等、実態は様々です。

このたび地域の皆様方には、大変ご無理をお願いする中で、教育委員会といたしましてもこれまでの活動経過も考慮しながら、今日の地域コミュニティが損なわれることのないように、関係部局に申し入れていきたいと考えています。

9 通学路の安全対策について

千里山竹園 1 丁目と千里山西 5 丁目・4 丁目の境界道路の千里山竹園 1 丁目側に歩道または歩行者用の安全柵の設置。(地図 A の場所)

- ・ 歩道の設置については、道路の幅員 (5 . 5 m) から見て困難です。
- ・ 安全柵 (馬蹄形の柵) については、現状では道路の両側に住宅が連続しており、設置できる場所が限定されるため、効果を見極めるためにさらに検討が必要です。
- ・ 実施可能な安全対策としては、路側帯に緑色のペインティングの表示、路面表示 (「スピード落とせ」 など) が考えられるため、横断歩道の設置と併せ警察署と協議をしています。

千里山竹園 1 丁目 7 番「パインフィールド緑地公園」前の道路にカーブミラーの設置。(地図 B の場所)

設置場所については安全予防の面から見て、「パインフィールド緑地公園」の敷地内の設置が前提となるため、当該管理組合の同意を得るべく依頼を行っております。もし、同意が得られればできるだけ早くカーブミラーの設置を行います。

その他、南千里中学校の校庭内を通り桃山台小学校へ通学できるよう検討しています。

10 ヴィルヌーブガーデンズ千里山西マンションと千里山竹園1丁目30番街区を調整区域にできないのか。

在校生については、現在の学校での友達関係などにも一定配慮すべきとの考えから、卒業までという期間を限って選択を認める判断をいたしました。千里新田小学校の今後の児童数推計から判断すると、無条件に調整区域を設けることはできない状況です。

11 第一中学校区変更対象者の南千里中学校への通学について

南千里中学校は、現在15学級と比較的小規模となっています。今後の保護者への予備調査などの結果も踏まえて検討してまいります。

千里山竹園1丁目

新御堂
助

B

A

千里山第一噴水
→ 阪急千里山駅

千里山第一茶

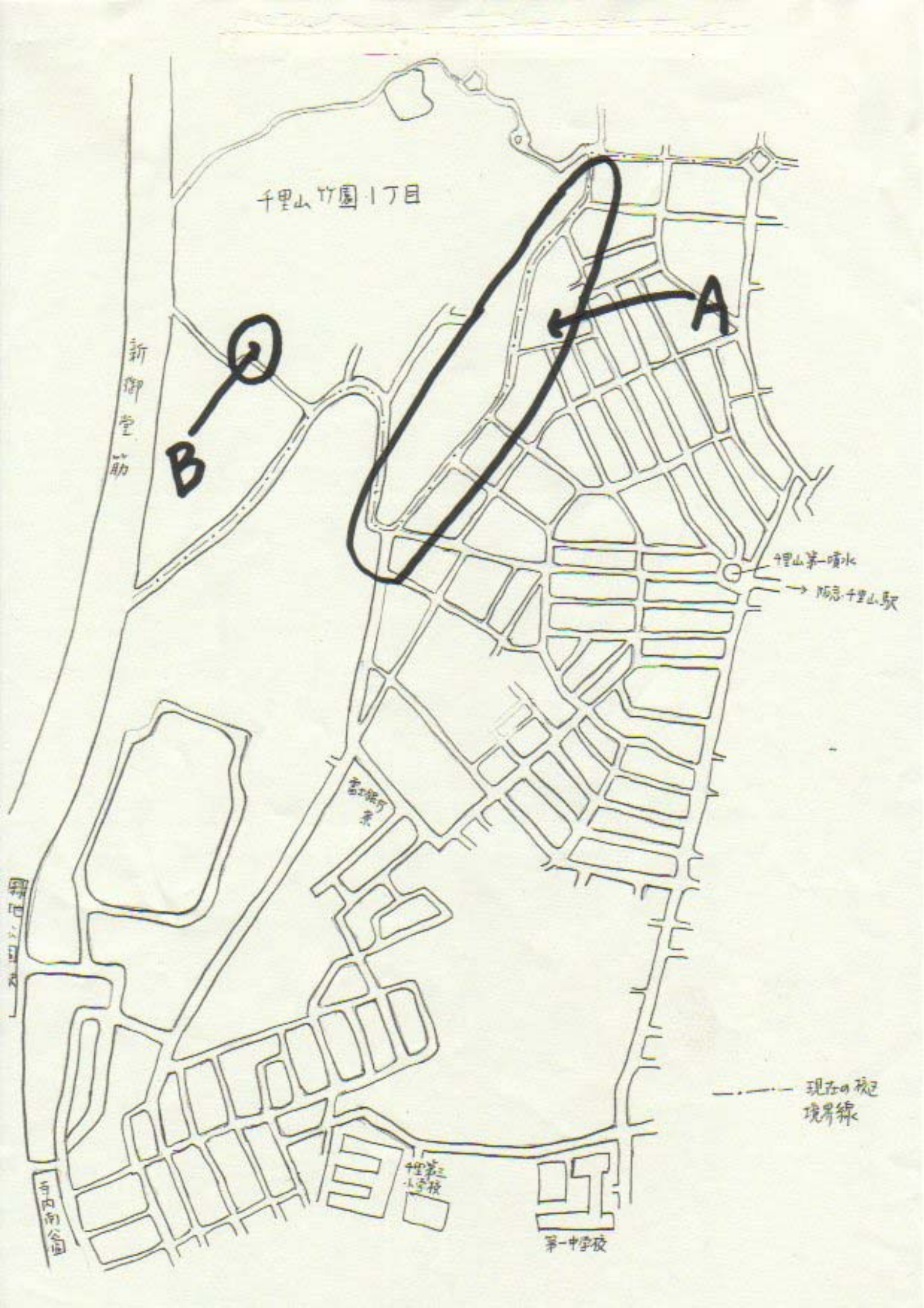
千里山第三小学校

第一中学校

----- 現在の校区
境界線

西四ノ丁

寺内南公園



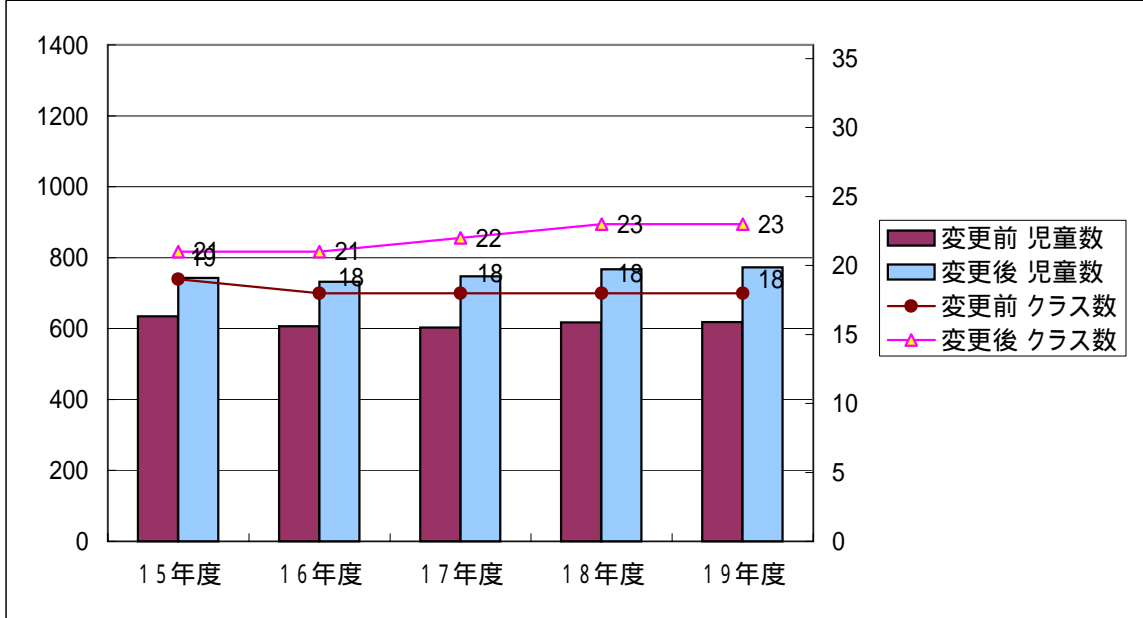
1. 今後の千里第三小学校の児童数の推移

(1) 平成14年度の児童数

平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計
児童数	108	100	93	107	124	105	7	644
学級数	3	3	3	3	4	3	1	20

(2) 今後の児童数の推移



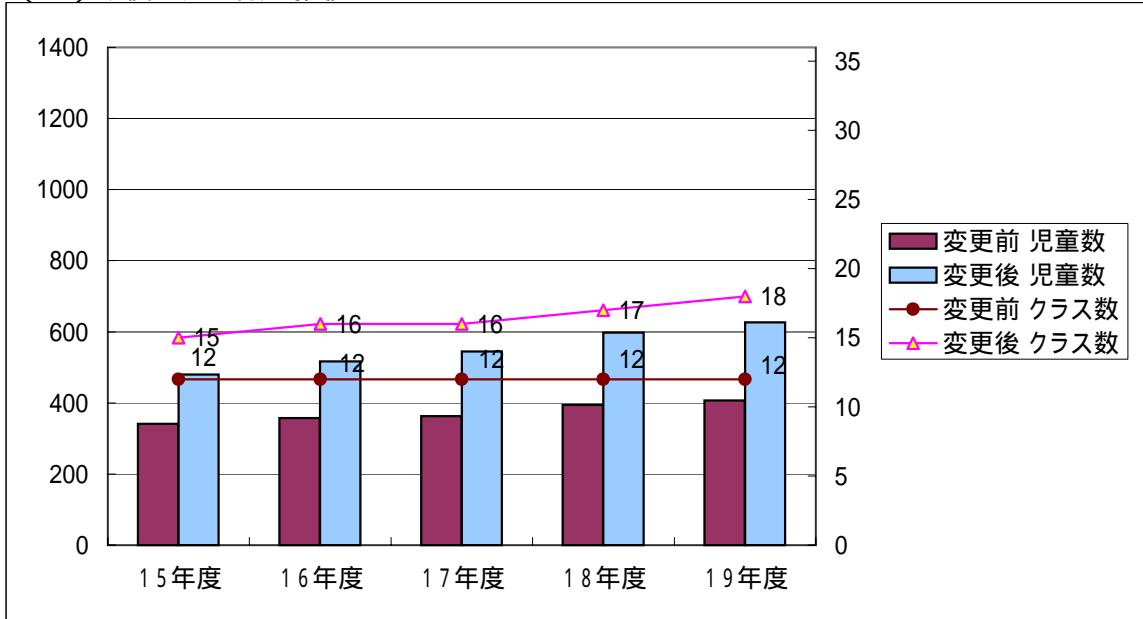
2. 今後の桃山台小学校の児童数の推移

(1) 平成14年度の児童数

平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計
児童数	52	44	38	57	48	53	1	293
学級数	2	2	1	2	2	2	1	12

(2) 今後の児童数の推移

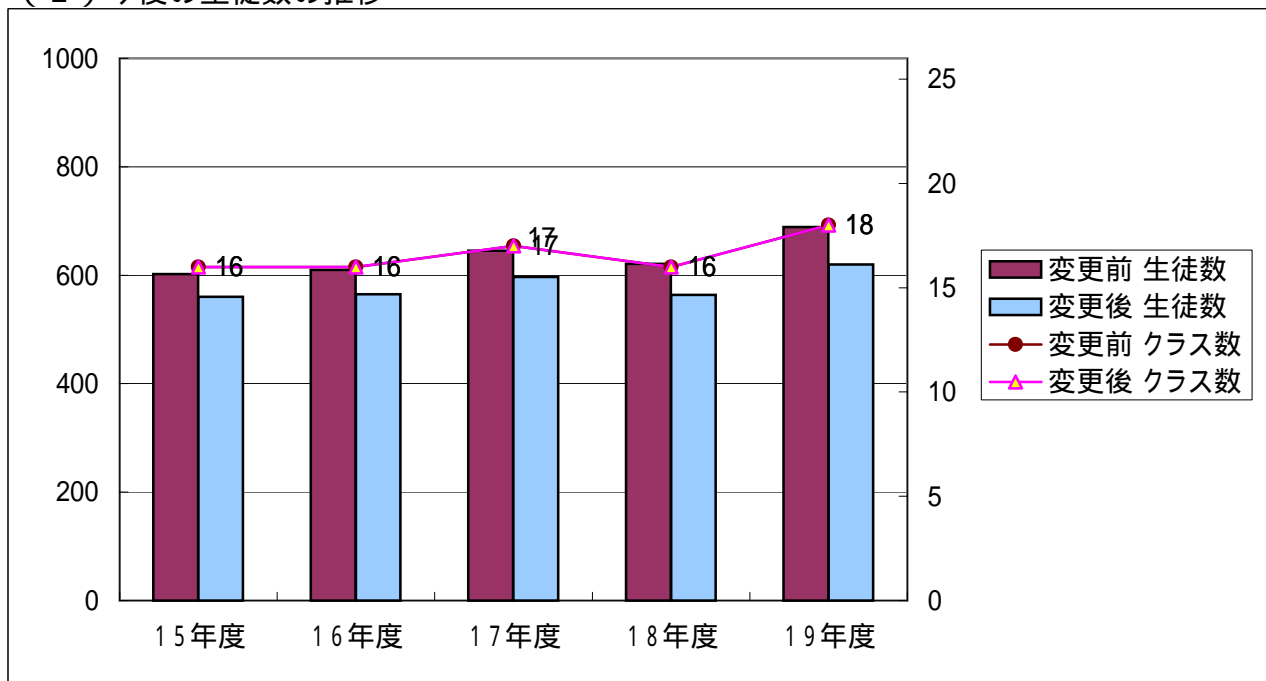


3. 今後の南千里中学校の生徒数の推移

(1) 平成14年度の生徒数 平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	養護学級	計
生徒数	163	178	192	7	540
学級数	5	5	5	2	17

(2) 今後の生徒数の推移



4. 今後の第一中学校の生徒数の推移

(1) 平成14年度の生徒数 平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	養護学級	計
生徒数	194	198	245	7	644
学級数	5	5	7	2	19

(2) 今後の生徒数の推移

